

# 東日本大震災への対応

2011年3月11日の東日本大震災により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

被災地の救援、復興に役立てていただくための義援金のほか、当社グループで行なっている支援と今後について下記のとおり報告します。

## ■義援金

1億円（大和証券グループ）

[岩手県・宮城県・福島県へ 各3,000万円]

[茨城県へ 1,000万円]

## ■ボランティア活動助成金

3,500万円（大和証券福祉財団）

[岩手県、宮城県、仙台市、福島県、茨城県の

災害ボランティアセンターへ 500万円（各100万円）]

[災害ボランティア活動団体へ公募助成 3,000万円

（1件につき上限50万円）]

助成対象は、学生、および専門性を必要とするサポート活動を行なっている専門職団体・グループです。

## ■災害医療に関する調査研究助成金

1,000万円（大和証券ヘルス財団）

[東北地方および茨城県、栃木県、千葉県の被災地域における、被災地の医療活動・災害医療を研究する大学・研究所・病院その他の個人・団体に 1,000万円（1件につき上限100万円）]

## ■Daiwa Foundation Tohoku Scholarships

25万ポンド（大和日英基金）

学業および生活に支障をきたした東北地方出身の学生に対し、25万ポンドの奨学基金を設立することを決定。

## ■「ダイワのポイントプログラム」

### 交換ポイントによる支援金（大和証券）

募金金額：約718万円、参加人数：7,005人

（2011年4月30日現在）

認定NPO法人ジャパン・プラットフォームを通じて被災地の復興支援活動に使われます。

## ■社内募金活動（大和証券グループ）

国内外の社員の募金総額：約4,057万円（2011年4月27日現在）

認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム、日本赤十字社を通じて被災地の災害復興活動や被災者の支援に使われます。

## ■政策提言（大和総研）

大和総研では、「復興基金」と「復興連帯税」創設などの復興支援提言を発表しました。

（提言「未曾有の大震災からの復興へ『復興基金』と『復興連帯税』の創設を提言する」）

詳細はwebサイトをご覧ください

<http://www.daiwa-grp.jp/data/current/press-2955-attachment.pdf>

## ■金融商品を通じた支援

大和証券グループでは、「ダイワ・ニッポン応援ファンド（フェニックスジャパン）」<sup>※1</sup>の信託報酬の一部を被災者支援団体に寄付します。

また、莫大な復興資金におけるファイナンス面でのサポートや、インパクト・インベストメントに関連した金融商品の開発に努めます。

※1「ダイワ・ニッポン応援ファンド（フェニックスジャパン）」：大和証券投資信託委託を通じて募集を始める日本株型のファンド。日本経済を元気に、強い日本企業を応援しようと、日本株限定で投資をするファンドを開発。

## ■今後の支援の方向性

東日本大震災と福島第一原発事故後、里山などに見られる環境や社会に配慮した地域経済の仕組みや持続可能なエネルギーに着目し、持続可能な経済を構築することへの関心が高まっています。そのため、企業や投資家に向けて環境、CSR情報など、幅広い観点からの情報発信にも努めます。

その他にも、大和総研からの政策提言など、当社グループが資本市場を通じて貢献できることは多いと考えます。

2004年スマトラ沖津波復興支援プロジェクト<sup>※2</sup>の知見を活用し、スマトラ復興の経験の共有なども行なっていく予定です。

また、イントラネットを活用した社員ボランティアの情報提供など、長期的に社員に対しても働きかけをしていきます。

※2 大和証券グループ津波復興基金

大和証券グループ津波復興基金の詳細はwebサイトをご覧ください

<http://www.daiwa-grp.jp/csr/citizen/support/tsunami/>

<http://www.acc21.org/act/act-specialfund-daiwa.html>